資料No.4

天神山小学校・幼稚園の取り組み

「施設一体型　幼小連携校」

岸和田市立天神山小学校・幼稚園

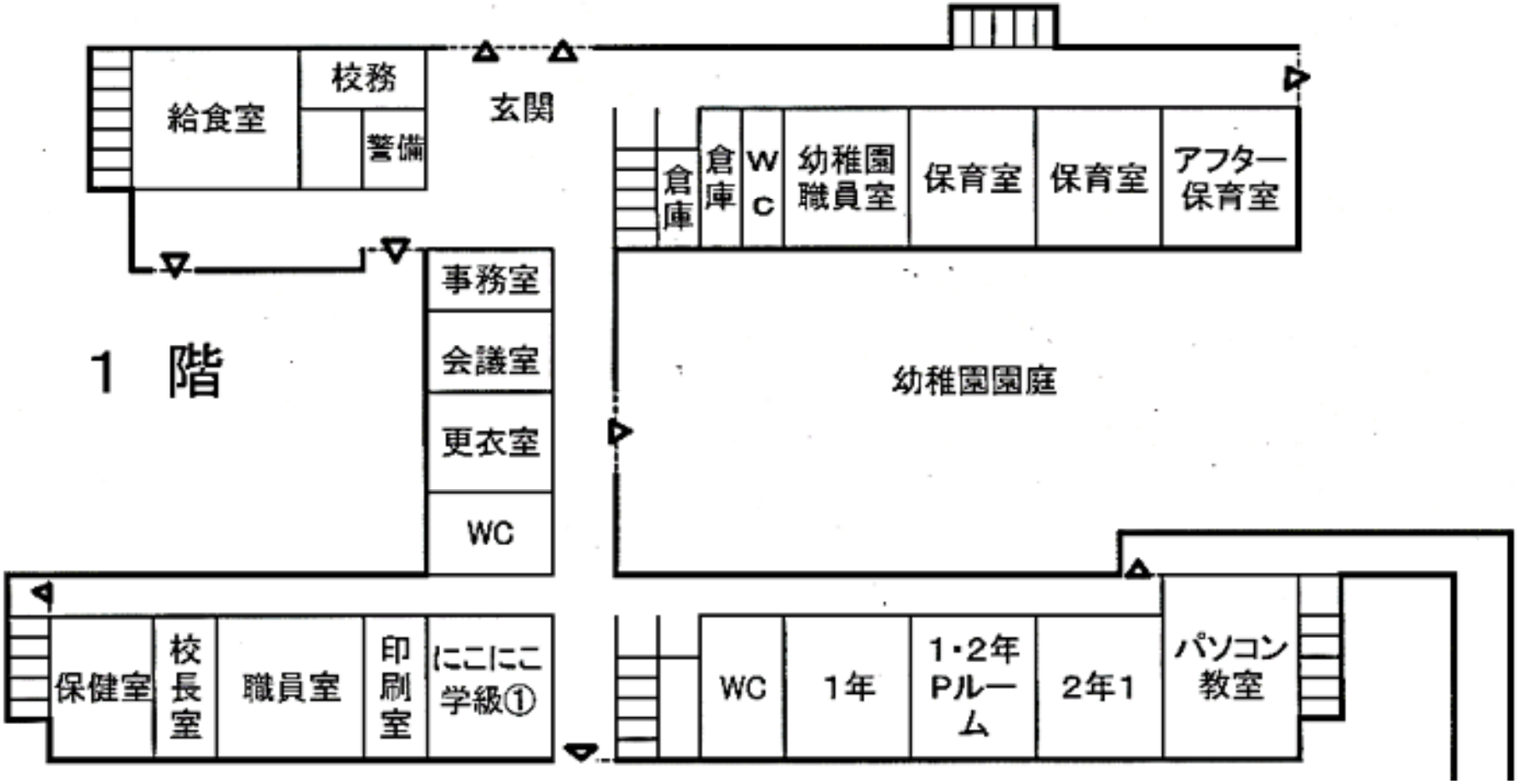
なぜ施設一体型幼小連携校になったか

- 幼稚園から小学校へのスムーズな移行
- 幼稚園給食
- 子ども同士の交流、職員間の交流
- 公共施設のあり方への対応
- 経費の節減

なぜ天神山なのか

- 児童数の減少による余裕教室
- 運動場、体育館、音楽室、パソコン室等の活用
- 中庭を園庭に活用できる
- １階での送迎スペースが確保できる

幼稚園配置図


給食室
校務
警備
玄関
倉庫
倉庫
WC
幼稚園職員室
保育室
保育室
アフター保育室
事務室
会議室
更衣室
WC
1 階
幼稚園園庭
保健室
校長室
職員室
印刷室
にこにこ学級①
WC
1年
1・2年Pルーム
2年1
パソコン教室

学校園の規模

- 児童数　…１９４名
  園児数　…１９名

- 教職員数…３２名

小学校の施設利用

- ワクワクルーム
- 運動場
- 音楽室
- パソコンルーム
- 体育館
- 家庭科室
- 図書室

小学校の教員との関わり

- 小学校教員による出前授業
  - パソコン
  - 栄養職員
  - 養護教諭
  - 音楽
  - 英語
  - 図書コーディネーター

小学生との自然な関わり

ロング休憩に全学年と交流

園児と児童のペアの設定

ペア写真の掲示

保育室と教室のそれぞれで掲示して意識づけ。

小学校での振り返り

- 「エイリアンの的当てが、一番人気だった！」
- （挨拶をした児童）
  「じょうずに発表が出来た！」
- 「喜んでくれて楽しかった！」
- 「幼稚園の子に丁寧に教えることが出来た！」

活動の成果

楽しい→葛藤→成長

小学校と幼稚園の研究内容の検討

【あたたかい心のつながり】

（学校教育目標） 力強く生き抜く子どもの育成

（研究主題） あたたかい心のつながり～自分や相手の思いを大切にする子の育成をめざして～

（研究内容）「共感性」「思いやり」「思考力」を高める

①共感性・思いやり・思考力を高める授業	②心をつなぐ作文	③学力向上	④朝の読書	⑤外国語活動	⑥学習の約束	⑦職員研修会	⑧質問紙調査	（道徳教育）
日々の授業での実践 公開研究授業（年２回）	全校一斉作文の時間 各学級での交流 題名の掲示 集会での作文紹介	日々の授業での実践 基礎学力テスト チャレンジ天神山っ子 家庭学習のすすめ 全校一斉思考力の時間 全校一斉学力向上の時間	語彙力・読解力 多角的な見方・考え方 日々のリズム	高学年　年三五時間 中学年　各学期五時間 低学年　各学期三時間 英語週間	授業中の言葉づかい 敬称「○○さん」	思考力育成 学力向上 幼小一貫 教育課程報告会	四月　プリテスト 一月　ポストテスト	道徳研究授業（年１回）

小学校との研究内容の接続

①共感性・思いやり・思考力を高める授業	①友達と一緒に遊びを工夫したり、創り上げたりする。
②心をつなぐ作文	②振り返り場面での伝え合い・絵画活動（絵を見合う、発表する）
③学力向上	③考えたり、試したり、試行錯誤しながら、生活する。
④朝の読書	④絵本タイム・月刊絵本 あのねのお話し会
⑤外国語活動	⑤ＡＬＴの先生との交流
⑥学習の約束	⑥集団生活の基本的なルールの習得
⑦職員研修	⑦小学校の先生との合同の研修会 研究授業の見学
⑧質問紙調査	⑧保護者へのアンケート調査

絵画活動・振り返り（言葉）

《10の姿》

言葉による伝え合い

小学校での「心をつなぐ作文」の活動

なめらかな　接続

主体的に学習に
取り組む態度

小学校

幼稚園

あこがれ・安心感

やってみよう！

成果と課題【幼稚園】

成果･･･○　課題･･･●

○小学校の施設を活用できる。
○小学校の教職員と協力できる。
○給食で苦手な食材に挑戦できる。
○男性職員に慣れることができる。
○欠席者の減少・体重の伸び
●活動に時間的制約がある。

成果と課題【小学校】

〇年下の子と触れ合うことで、思いやりの気持ちが育つ。
〇認められる場面が増え、自己肯定感を持てる。
〇委員会等での活躍の場が増える。
〇１年生が上級生の意識を持てる。
●教室に園児の声が聞こえる。

成果と課題【教職員】

〇お互いの教育内容を意識しながら活動に取り組める。
〇幼稚園で身に着けていたことを意識して指導に当たれる。
〇日常的に相談できる環境にある。
●施設一体化後も、意図的な情報共有が必要。

成果と課題【保護者】

〇初めに持っていた、給食に対する不安感の解消につながる。
〇小学生が、子どもに声をかけてくれるのが嬉しい。

今後の展望

①交流に向けての準備や、振り返りの時間を意識的に設定。
②幼稚園と小学校での共同研究の検討・推進。
③幼小接続カリキュラムの再整備
④「同僚性」を高める。